

臨床検査に関するお知らせ



株式会社セントラル医学検査研究所

TEL(本社)029-225-8858 (下館)0296-28-5900

先生各位

平成 25 年 12 月

A-13-25

検査受託中止と新規代替項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
また、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
この度、下記検査項目の受託を中止させていただきたくご案内致します。
何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

- ◆ 最終受託日 平成 25 年 12 月末日ご依頼分をもって受託中止
- ◆ 受託中止項目

2013 年 検査案内	項目 コード	検査項目	備考
p.27	17230	ヒトパピローマウイルス DNA 型判定 (ハイリスク 13 種)	新規項目受託開始に伴う受託中止

PCR-rSSO法によるヒトパピローマウイルス検査を新規受託致します。新法は、現行法と検出可能なジェノタイプの種類は変わらず、所要日数が短縮されます。また、保存安定性の高い専用容器(室温で 28 日間)を設定させて頂きました。現行法の代替項目としてご利用頂きたくご案内申し上げます。

- ◆ 受託開始日 平成 26 年 1 月 6 日 (月) ご依頼分より
- ◆ 新規項目(代替項目)

検査項目	ヒトパピローマウイルス(HPV) ジェノタイプ判定	検査方法	PCR-rSSO法
検体材料	子宮頸部	保存方法 (安定性)	室温(28 日)
容器	専用容器(※裏面参照)	基準値(単位)	陰性
所要日数	5~8 日	実施料/判断料	2000 点/150 点(微生物学的検査)
備考	検出可能な型は 16, 18, 31, 33, 35, 39, 45, 51, 52, 56, 58, 59, 68 型です。 本検査はあらかじめ組織診断により CIN1 または CIN2 と診断された検体を専用容器でご提出下さい。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取扱いに十分ご注意下さい。他項目との重複依頼は避けて下さい。		

次面に続く

● ヒトパピローマウイルス(HPV)ジェノタイプ判定

◆ 対象疾患

●子宮頸がん

◆ 関連項目

- 細胞診（婦人科）〔ベセスダシステム〕
- ヒトパピローマウイルス DNA（ハイリスクグループ）（LBC）
- ヒトパピローマウイルス DNA（16型、18型、その他ハイリスクグループ）

◆ 検体採取方法

容器形態	検体取り扱い方法
<div data-bbox="153 824 405 1330" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="145 1379 395 1532" data-label="Text"> <p>内容 メタノール 55%</p> <p>貯蔵方法 室温</p> <p>有効期間 1年6ヶ月</p> </div>	<div data-bbox="469 696 732 969" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="746 692 1099 725" data-label="Section-Header"> <h4>①子宮頸部の細胞を採取する</h4> </div> <div data-bbox="767 730 1485 792" data-label="Text"> <p>綿棒以外の採取器具（ブラシ、スパーテル）を用いて細胞を採取して下さい。</p> </div> <div data-bbox="469 987 732 1261" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="746 981 992 1014" data-label="Section-Header"> <h4>②細胞を洗い落とす</h4> </div> <div data-bbox="767 1016 1485 1108" data-label="Text"> <p>採取器具を容器に入れ、容器の底で採取器具の先端が広がるように10回程度押し付けた後、強くかき回して採取した細胞を洗い落として下さい。</p> </div> <div data-bbox="469 1279 732 1552" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="746 1272 1046 1305" data-label="Section-Header"> <h4>③しっかりフタを閉める</h4> </div> <div data-bbox="767 1310 1485 1404" data-label="Text"> <p>採取器具を取り出し、フタの黒いラインが容器本体の黒いラインを左に超えるように、しっかりフタを閉め、室温保存して下さい。（注）採取器具の先端は容器に残さないで下さい。</p> </div> <div data-bbox="746 1438 873 1467" data-label="Section-Header"> <h4>★ご注意★</h4> </div> <div data-bbox="746 1467 1485 1684" data-label="Text"> <p>妊婦より細胞を採取する場合は、安全性を考慮し、ブラシ、スパーテル等の採取器具の使用は避け、綿棒を使用して下さい。ただし、綿棒で検査に必要な細胞量を採取する為に、採取前に別の綿棒で粘液を除去し、採取に使用した綿棒を保存液中で十分にすすぎ、採取した細胞を洗い落として下さい。容器には綿棒の先端を残さないで室温保存して下さい。また、綿棒では無理な力がかかかりますと折れる可能性がありますので十分にご注意下さい。</p> </div>

◆ 新検査方法参考文献

尾崎 聡, 他 : 臨床病理 60 (7) : 621~626, 2012.